



## 大江戸線延伸（光が丘～大泉学園町） をめざし、パネル展を開催中！

とき 11月26日（水）～ 12月1日（月）正午まで

ところ 練馬区役所本庁舎1階アトリウム

大江戸線延伸促進期成同盟（会長 前川耀男練馬区長）は、26日から練馬区役所で「大江戸線延伸に関するパネル展示会」を開催し、延伸（光が丘～大泉学園町）が実現した場合の整備効果を積極的にPRしている。こうした取り組みは、これまで延伸地域を中心に行ってきたが、整備効果は環境、防災、観光など幅広く区内全域におよぶため、今回はじめて区役所で開催した。

パネル展に先がけて20日（木）には、前川耀男区長は区民、区議会議員とともに東京都庁を訪れ、大江戸線の早期延伸に関する要望書を提出。区と都が実務的な協議を進めることなど、実現に向けた具体的な項目を要請している。



大江戸線延伸に関するパネル展の様子

### 【展示内容】

- (1) 延伸計画の概要、大江戸線延伸への取り組み等パネル展示
- (2) 大江戸線沿線の今と昔の航空写真展示
- (3) 延伸地域の魅力発信パネル展示
- (4) 大江戸線延伸懸垂幕設置
- (5) 大江戸線開業当時のビデオ放映
- (6) 開業当時の締結式で使われた記念品展示（提供東京都交通局）

### 【これまでの取り組み】

大江戸線の光が丘から大泉学園町への延伸は、平成12年、運輸大臣（現国土交通大臣）の諮問機関である運輸政策審議会（現交通政策審議会）において、「2015年までに整備着手することが適当な路線」として位置づけられている。また、交通政策審議会は本年4月、改めて国から「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」の諮問を受け、平成27年度中に答申を取りまとめる予定で議論を進めている。

練馬区は、大江戸線延伸の早期実現を区政の重要課題の一つとし、昭和63年に地域住民・区議会・区が一体となった「大江戸線延伸促進期成同盟（会長 前川耀男練馬区長）」を設立し、延伸促進活動に取り組んでいる。

大江戸線の導入空間となる補助230号線は、笹目通りから大泉学園通りまでの全線が事業化され、既に一部開通している。また、土支田中央土地区画整理事業の工事は完了し、駅前広場の用地も確保している。

【問い合わせ】都市整備部 大江戸線延伸推進課 大江戸線延伸推進担当係 電話 03-5984-1584